

今月の寺ともさん あじの里 介護福祉士 藤井 奈緒さん



今月の寺ともさんは、藤井奈緒さんです。藤井さんは、特別養護老人ホーム「あじの里」で、介護福祉士としてご活躍です。このお仕事に携わりトータルで約9年になります。普段は、「あじの里」にデイサービスに来られる方々のお世話をなさっています。約30人程度のお年寄りを10人の介助者が分担しておられるのですが、そのお一人として取り組まれています。日常生活動作の介助・車での送迎・入浴・衣服の着脱の介助がお仕事内容です。デイサービスでの一日の流れは、お迎えに始まり、トイレや入浴・着脱そして運動をして、レクリエーションを楽しんで帰宅して頂くようになっていきます。レクリエーションはバラエティに富んでいて、買い物ドライブや映像を見ながらの音楽体操、そして四季折々の作品作りをする手芸もあります。その他、カラオケはもちろん、室内でのゲートボール・ボーリングや脳トレや計算問題など様々です。慰問には日舞・フラダンス・牟礼の伝統芸能と言われる銭太鼓も来るそうです。2月に寺とも落語に徳成寺に来てくれた酔亭藪太郎さんや釣亭黒鯛くんも落語の慰問に行っています。そんな「あじの里」で働く藤井さんは、お年寄りから「ありがとう」と素直に感謝を口にされると、やって良かったと実感するそうです。お年寄りのお世話は、生易しいものではありませんが、笑顔を絶やさず取り組まれている様子が目に浮かびました。腰をいたわりながら、これからもお年寄りに優しく接してください。

***** ご自慢のペットちゃん *****



名前：たまちゃん
性別：♀
お年：9歳
種類：MIX
好物：キャットフード
苦手：特になし
住所：米谷さん宅(高松市)
性格：おとなしい

ご自慢のペットちゃん
募集中だにゃん!

エピソード：米谷さんが飼っていた犬との散歩に、くっついてきたノラ猫が、実はたまちゃんでした。犬用の水を飲み、エサは近所の人たちの差し入れを食べ、夜にはどこかに帰って行きます。これを繰り返すこと1年、ついにたまちゃんは、家族の一員になりました。メスなので子どもを産んだこともあるのですが、乳離れするまで育て上げたら、どこかに連れて行き、自分だけ舞い戻ったとか。余程居心地がいいんですね。

***** 総代さん便り *****

総代の本川です。書店で、たまたま目にとまった一冊が「お迎えされて人は逝く」(奥野滋子、ポプラ新書)。奥野氏はベテラン緩和ケア医です。その概要は、①自宅で看取られた人の4割にお迎え現象が発生(NHKで数年前に放映され反響をよんだ故岡部健医師の調査を紹介)②奥野医師自身も病院内で、せん妄・怖い心霊現象とは明らかに異なる、穏やかなお迎え現象に多数接する(科学では解明できないが事実としてある)③お迎え現象の体験者は、ほとんどが安らかに逝去される、としています。その上で、④死期の迫った夫に妻が「私が死ぬ時は迎えに来てね」などと約束を交わせば、死では終わらないつながりが生まれ、その安心感から死の受け止め方も変わるのでは、と提言しています。いい話です。ただ、わが身を振り返ると、家族に「お迎え?こなくていいよ」とか軽くいわれそうで、微妙なところ。みな様はいかがでしょう。

